

平成 26 年度京都大学吉田地区 ESCO 事業提案審査の講評

京都大学吉田地区 ESCO 事業は、民間のノウハウ、経営能力及び技術的能力を活用することによって、京都大学における省エネルギー化を推進し、環境負荷の低減並びに光熱水費の効果的な削減を図ることを目的としたものであります。先般、広く事業提案を募集したところ 2 企業グループから参加表明及び選考用提案書が提出されました。

京都大学吉田地区 ESCO 事業審査委員会は、これらの提案書に基づき各企業グループのプレゼンテーションを受けヒアリングを行うとともに、提案審査要領に則り厳正かつ慎重に審議した結果、最優秀提案者として(株)クリエイティブテクノソリューションを代表者とするグループ、優秀提案者として(株)関電エネルギーソリューションを代表者とするグループを選定しました。

最優秀提案では、改修対象エリアについてほぼ全数の照明器具を LED 照明に更新することや、室外機の台数制御による部分負荷効率に優れた超高効率ガスヒートポンプの採用、空冷チラーに替えた外気量制御による個別空調化の導入などにより、省エネルギーと二酸化炭素削減の効果が大きかったこと、また、対象建物の電気、ガス使用量の見える化や更新する空調設備を対象とした遠隔監視システムを導入するなどハード面、ソフト面の両面から提案され、さらに契約期間中に保証された本学の利益総額が大きいことを高く評価しました。

また優秀提案では、照明のLED化による十分な省エネルギー効果に加えて、既設GHPからデマンド抑制機能付き高効率EHPへの変更のほか、熱源 2 次ポンプの高効率化や人感センサー導入など、多くの種類の省エネルギー手法が提案され、全体としてバランス良く計画されているとともに、省エネルギー量の算出根拠に妥当性があることなどが評価されました。

今回の募集に際しては、対象施設の性質上、省エネルギー手法の種類に限られることを懸念していましたが、各社とも様々な設備・手法の提案があり、省エネルギーと二酸化炭素の削減とともに、デマンド平準化に関する措置も考慮した意欲的で優れたアイデアや、各種 LED 照明の導入などライフサイクルでみた廃棄物や環境負荷低減を目指す取組みなどが盛り込まれていました。

本事業の実施にあたり、こうした高い技術力と多角的な視点に基づいた貴重な提案をいただき、かつ多大な労力をご提供いただいた提案者に、心から敬意と感謝の意を表しお礼を申し上げます。

平成 26 年 10 月 17 日

京都大学吉田地区 ESCO 事業審査委員会委員長
塩路 昌宏